

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成27年度採択分）
「発発生物学研究におけるアジア・オセアニア地域からの国際情報発信の強化」
（課題番号：15HP2033）

学術団体名：日本発発生物学会

学術刊行物の名称：Development Growth & Differentiation

事業期間：平成27年度～平成31年度

1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

発発生物学分野における我が国の国際的評価は非常に高く、国際的な評価を得るに至っています。日本発発生物学会の機関誌であるDevelopment, Growth & Differentiation (DGD) 誌を、我が国の研究水準に見合った学術誌へと進化させ、より強力な国際情報発信の基盤とするため、編集体制の強化・国際化と、魅力的コンテンツのOpen Access (OA) 提供促進に取り組みます。

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

アジア・オセアニア地域の機関誌としてのDGD誌の位置づけを確立するため、年間投稿論文数の上昇、およびインパクトファクターの向上を目指します。国内外における関連集会に研究者を派遣、招聘し、採択者にDGD誌への寄稿を要請するとともに、関連集会と連携して最新の研究成果を発信する特集号を企画・編集します。

2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

2014年10月から2015年9月までの投稿数は141報（国外からの投稿99報）、採択率は54.8%、2015年10月から2016年9月までの投稿数は119報（国外からの投稿70報）、採択率は41.3%、2016年10月から2017年9月までの投稿数は128報（国外からの投稿68報）、採択率は60.2%です。関連集会と連携して、最新の研究成果満載の特集号をOAの特集号として毎年刊行し、閲覧数・引用数上昇に貢献しています。加えて、派遣・招聘研究者からの論文も随時発行しています。また、国内のみならず、国外からの投稿も高水準を保っており、国際誌としての位置を強化しつつあります。

・今後の計画

Special Editorsの雇用、OA支援（原著論文のOA支援、魅力的コンテンツのOA提供）、最新の研究成果の総説を掲載、APDBNとの綿密な連携、海外学会との交流事業の効果的な配信を行っていきます。また、投稿される論文の査読審査において、論文の質を向上させるための丁寧な査読指導を行い、特にアジア・オセアニア地区の発発生物学分野におけるDGD誌の指導的立場を強固にしていきます。

